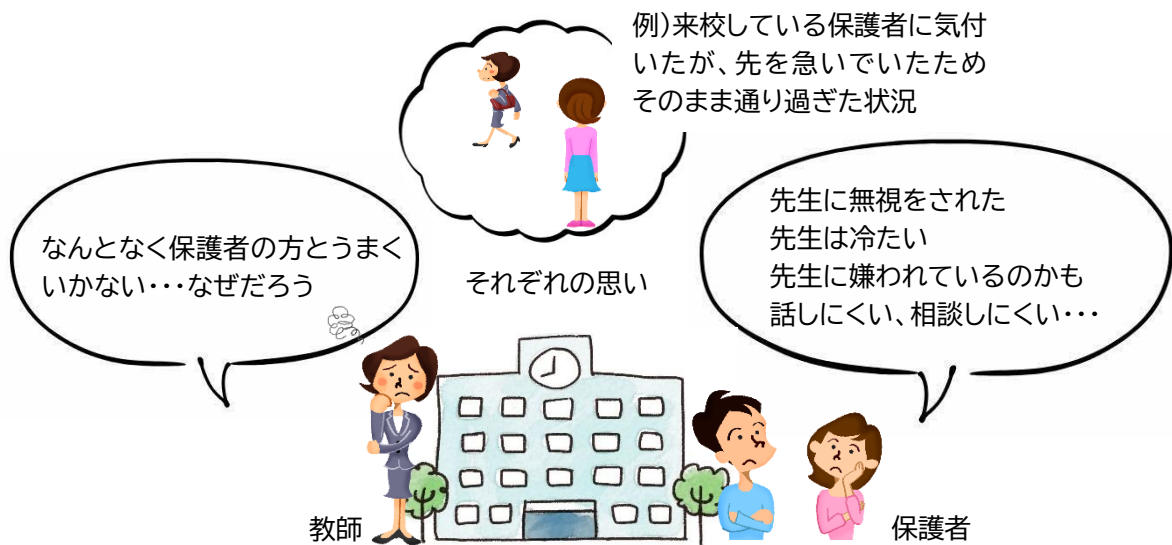


より良い関係づくりをしていくために大切にしたいこと

教育相談にかかわっていて「ちょっとしたすれ違い・誤解」が関係づくりを困難にしていることが少なくないと感じます。例えば、下記のように、他意のない教師の言動が保護者の方に誤解を与え、教師に対する印象やその後の教師とのかかわりに影響してしまっている状況です。（逆の状況もあり得ます。）大きなトラブルではなくとも、挨拶や相づち、声色や表情など、日常的で小さなことがすれ違いのきっかけとなり得ます。



教師と保護者の方は、子どもたちのより良い成長を願い、それぞれの役割を果たしていきます。子どもたちのことを思い、話し合ったり意見を出し合ったりする中で思いがぶつかることもあります。そのときに支えになるのが築き上げた良好な人間関係だと思えます。ちょっとしたすれ違いでその人間関係づくりがうまくいなくなるのはもったいないと感じます。

令和5年度が始まりました。新しい生活、新しい出会いに子どもたちも保護者の方、先生方も緊張や不安を感じているのではないのでしょうか。目の前のことに精一杯になる時期ですが、ちょっと顔をあげて、出会う人には大きめの笑顔で、自分から挨拶をしてみませんか。子どものことを真剣に話し合う関係づくりは、そこから始まると思います。



福島県特別支援教育センター教育相談係は2名の新しいメンバーを迎えてスタートしました。今年度も「**相談者の思いや願いに寄り添い、健やかな成長を促す教育相談**」をテーマに、業務に取り組んでまいります。この「教育相談だより」では、私たち教育相談係が教育相談を担当し、子どもたちや保護者の方、先生方とかかわる中で感じたことや大切にしていることなどをお伝えしていきたいと思えます。子どもたちの健やかな成長を願い、それぞれの立場で尽力している方々の支えとなれば幸いです。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



教育相談係一同